

「知財創造教育」の必要性

内閣府 知的財産戦略推進事務局



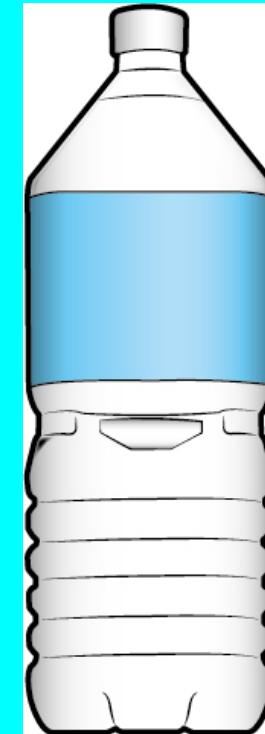
持つときに少し熱そうだね

こんなものがあったらいいな

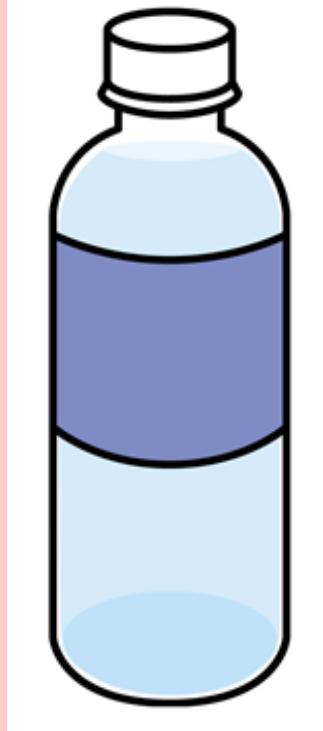


取っ手が付くと、
手が熱くないから便利だね

こんなものがあったらいいな



持ったときに滑りそうだね



持つところに“くびれ”があると、
持ちやすいし、滑りにくいため
便利だね

一つしかマンガが
なかつたら…



いろんなものがあつたらいいな



いろんなマンガがあつたら
楽しいね

ミュージシャンが1組だけ
だったら…



いろんなものがあつたらいいな



いろんなミュージシャンが
いると楽しいね

「知財創造教育」の必要性

◇いろんな「いいな」◇

こんなものがあったら
いいな（便利になるね）

コーヒーカップ、ペットボトル、…



いろんなものがあったら
いいな（楽しくなるね）

マンガ、音楽、…



「知財創造教育」の必要性

◇「いいな」を実現した身近な創造物の例◇



電子機器に搭載された技術等
(特許・意匠等)



パッケージデザイン
(意匠・商標等)



映画・漫画
(著作権等)



地域の農産物
(地理的表示(GI)・育成者権)



音楽
(著作権等)



スマホのスタンプ
(著作権)

世の中の人は、いろんなアイデアを出し、いろんなものを作っているんだね。
それらによって、楽しくなったり、生活が豊かになっているんだね。
人のアイデアや作ったもので、尊重されているものは、身边にいっぱいあるね。

「知財創造教育」の必要性

◇日本を代表する創造物の例◇

日本で発明されたものはどれでしょう。



電話



カップラーメン



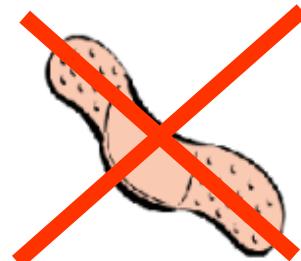
ジッパー



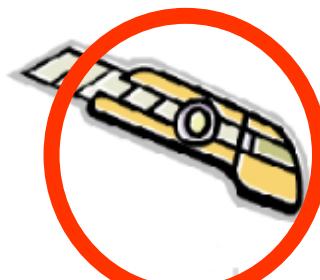
回転寿司



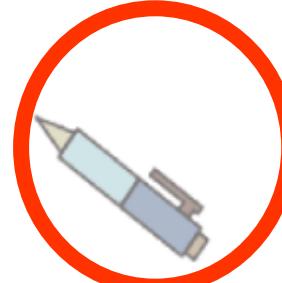
乾電池



糸創膏
(ばんそうこう)



カッターナイフ



シャーフペンシル

「知財創造教育」の必要性

◇小学生の発明品

(全日本学生児童発明くふう展受賞作品)

カーテン開ける君



かさほセルンくん



朝、設定した時刻になるとカーテンを開けて、開ききると自動的に止まることのできる装置

使って濡れた傘を閉じたまま、傘の布をのばして「ほす」と「しまう」が同時にできる台

詳しくは、下記のページを御覧ください。

http://koueki.jiii.or.jp/hyosho/gakusei/H29/gakusei_jusho_ichiran.html

出典:全日本学生児童発明くふう展(公益社団法人発明協会)

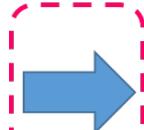
「知財創造教育」の必要性

◇創造物が尊重されることの意義◇

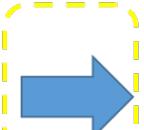
成功例：インスタントラーメン

＜課題＞

- ・ いつでも温かくて美味しいラーメンが食べたい
- ・ 誰にでも簡単に作れるラーメンを作りたい



- ✓ 容器の構造、容器への麺の入れ方を工夫
- ✓ インスタントラーメン用の麺の作り方を工夫



＜結果＞

- ・ インスタントラーメンという新たな産業分野を創出
- ・ いつでも手軽に美味しいラーメンが食べられるようになり、生活が豊かに

失敗例：ぶどうの新品種

＜課題＞

- ・ これまでよりも美味しいぶどうを作りたい
- ・ 病気に強く、誰にでも育てられるぶどうを作りたい
- ・ 国内だけでなく、海外にも販路を開拓したい



- ✓ 品種改良を重ね、美味しい新品種を開発
- ✓ 美味しいぶどうを育てるための育て方を工夫



＜結果＞

- ・ せっかく開発した新品種が海外に流出
- ・ 安価な海外産ぶどうが第三国に輸出されれば、日本の輸出の障害になる

創造性を育む教育

知的財産の重要性の教育

人のアイデアや作ったものが尊重されると、社会が豊かになるね。

人のアイデアや作ったものが尊重されないと、社会が豊かになりにくいね。

「知財創造教育」の必要性

◇現代社会の環境の大きな変化◇

現代は、以下のように、社会や産業の構造が大きく変化しようとしているよ。

1. コンピュータが人間の能力に近づいてきている



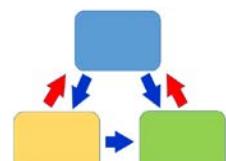
2. モノ以外の豊かさを求める人が多くなってきている



3. 価値観が多様化し、社会が複雑化している



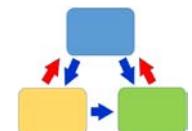
4. ビジネスマodel 자체が競争力の源泉となってきている



「知財創造教育」の必要性

◇これから求められること◇

1. コンピュータが人間の能力に近づいてきている
→ コンピュータを使いこなしたうえで、人間にしかできない発想をすること
2. モノ以外の豊かさを求める人が多くなってきている
→ 共感や体験を伝えたり提供したりすること
3. 価値観が多様化し、社会が複雑化している
→ 明確な解がなかつたり、複数の解がある問題に対応すること
4. ビジネスマネジメントモデル自体が競争力の源泉となってきている
→ 将来を想像し、それを具体的に実現させるアイデアを出すこと(=構想すること)



これらのこととは、子どもたちが既に持っていたり、潜在的に持っていたりするものではないか

大人(先生)が
引き出す!